

2019年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社キトー（東証1部：6409）

2018年11月14日

2019年3月期 第2四半期 サマリー

概況

グローバルでの旺盛な設備投資需要を捉え、グループ全体で増収増益

業績

(単位:百万円)	2019/3 Q2	前年同期比	期初計画	期初計画比
売上高	28,190	+ 14.3%	26,500	+ 6.4%
営業利益	2,564	+ 102.0%	2,000	+ 28.2%
当期純利益※	1,835	+ 244.7%	1,200	+ 52.9%

※親会社株主に帰属する四半期純利益 / 為替平均レート 1ドル = 110.3円

総括

- ・ 主要市場において資源、インフラ、民間各設備投資の需要は依然良好
- ・ 中国のEVを中心とした内需投資は堅調
- 取り組み
 - ・ 旺盛な需要を捉えるべく、増産体制を継続
 - ・ 基幹システムの安定運用による生産効率向上
 - ・ M&Aにより取得した欧州子会社との相乗効果を拡大
- △ 懸案
 - ・ 為替水準、資材費、米中通商政策などは引き続き注視

1

2019年3月期 第2四半期 決算報告

2

2019年3月期 見通し

3

参考資料

- ・ 過去5期分の業績・財務情報（2014年3月期-2018年3月期）
- ・ 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

2019年3月期 第2四半期 決算ハイライト

(単位 百万円)	2018/3期 Q2 累計 (4~9月)	2019/3期 Q2 累計 (4~9月)	前期比
売上高	24,661	28,190	14.3%
売上総利益 (売上総利益率)	8,386 (34.0%)	10,243 (36.3%)	22.1%
営業利益 (営業利益率)	1,269 (5.1%)	2,564 (9.1%)	102.0%
営業外収益	85	181	
営業外費用	474	430	
経常利益 (経常利益率)	879 (3.6%)	2,314 (8.2%)	163.2%
特別損益	—	—	
法人税等	308	407	
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	532 (2.2%)	1,835 (6.5%)	244.7%
EBITDA =営業利益+償却費	2,451	3,903	

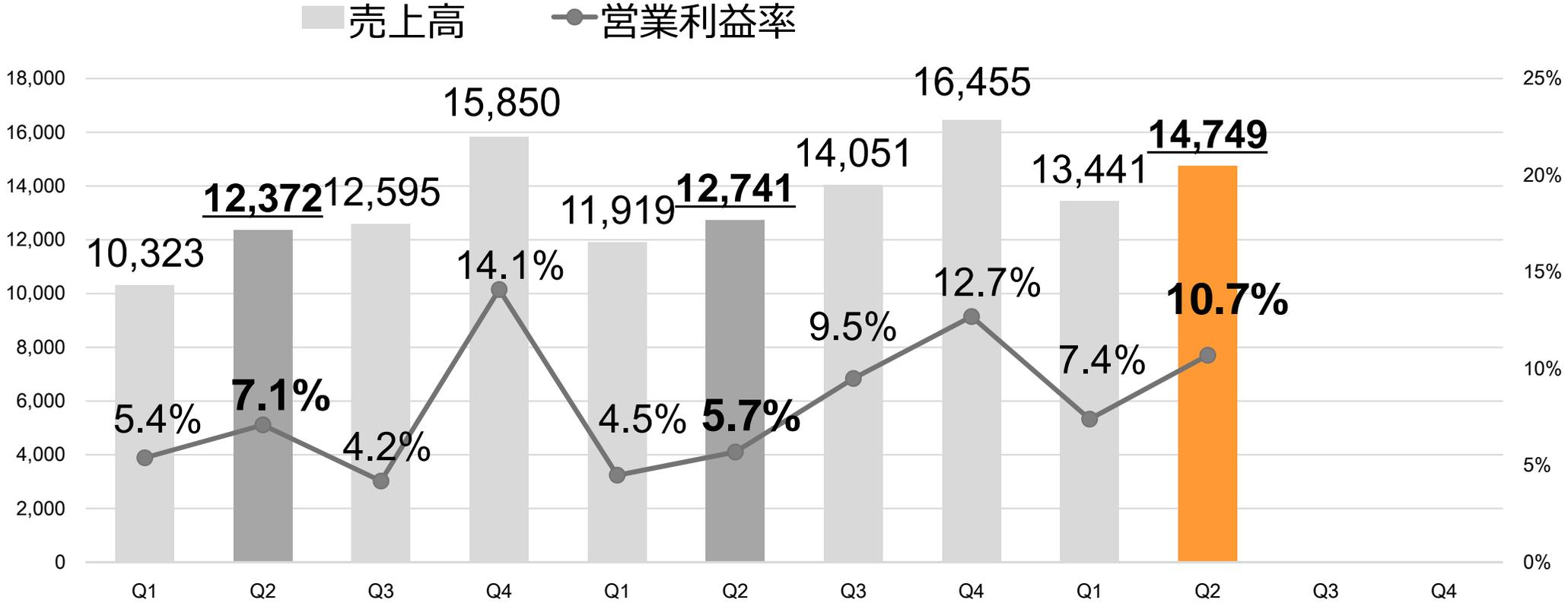
注 為替レート (2018/3期Q2→2019年/3期Q2) :

USD 111.1→110.3円 CAD 85.6→84.9円 EUR 126.3→129.8円 RMB 16.4 →17.1円

売上高および営業利益率（四半期比較）

**グローバルでの需要の高まりを捉え増収
増産体制継続により粗利改善、四半期営業利益率は2ケタに**

(単位：百万円)



営業利益	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
	561	<u>876</u>	532	2,239	538	<u>730</u>	1,338	2,092	992	<u>1,572</u>		

2017/3期
売上高 51,141
営業利益 4,208

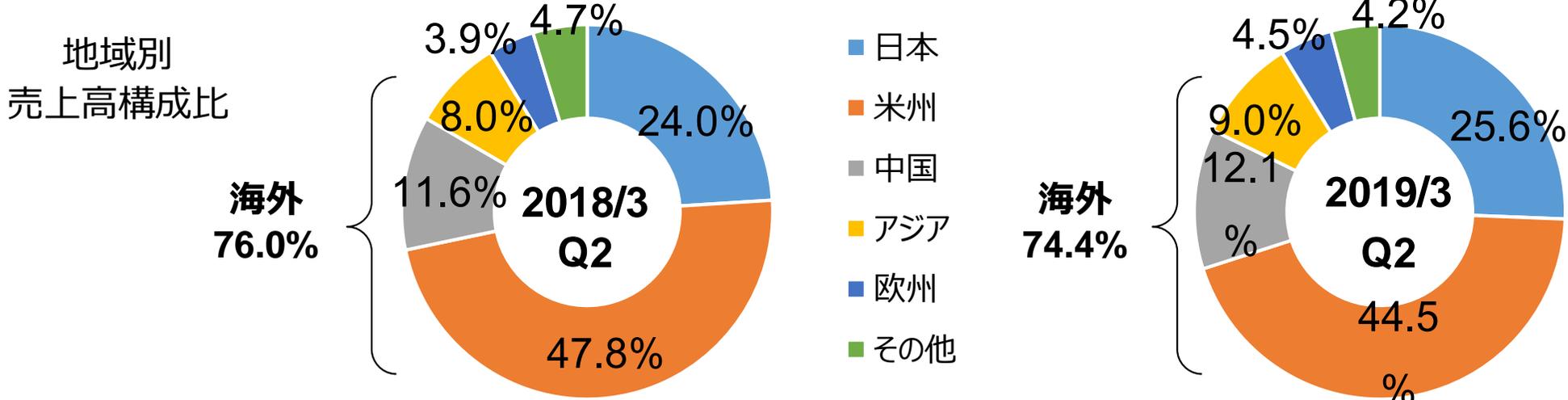
2018/3期
売上高 55,168
営業利益 4,698

2019/3期 (予)
売上高 60,000
営業利益 6,000

地域別の状況

(単位：百万円)	2017/3期 Q2		2018/3期 Q2		2019/3期 Q2		前期比	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	22,695	100.0%	24,661	100.0%	28,190	100.0%	3,529	14.3%
日本	5,984	26.4%	5,925	24.0%	7,225	25.6%	1,300	21.9%
米州	10,885	48.0%	11,781	47.8%	12,549	44.5%	767	6.5%
中国	2,561	11.3%	2,857	11.6%	3,417	12.1%	559	19.6%
アジア	1,956	8.6%	1,963	8.0%	2,533	9.0%	570	29.1%
欧州	672	3.0%	968	3.9%	1,270	4.5%	301	31.2%
その他地域	634	2.8%	1,165	4.7%	1,194	4.2%	28	2.5%

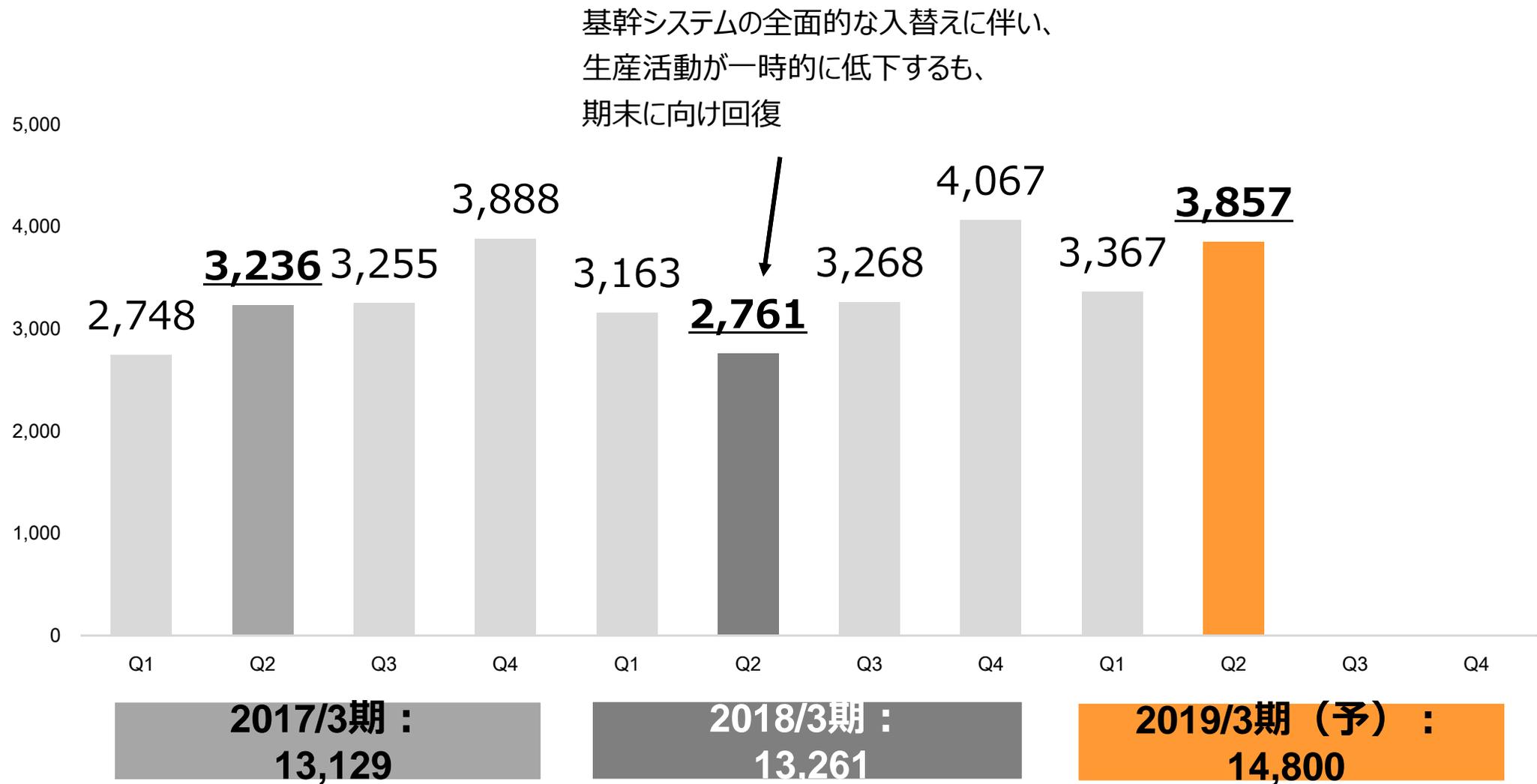
注 為替レート (2018/3期 Q2→2019/3期 Q2) :
 USD 111.1→110.3円 CAD 85.6→84.9円 EUR 126.3→129.8円 RMB 16.4→17.1円



地域別売上高（日本）

- インフラ関連及び民間設備投資共に、旺盛な需要が継続

(単位：百万円)



地域別売上高（米州）

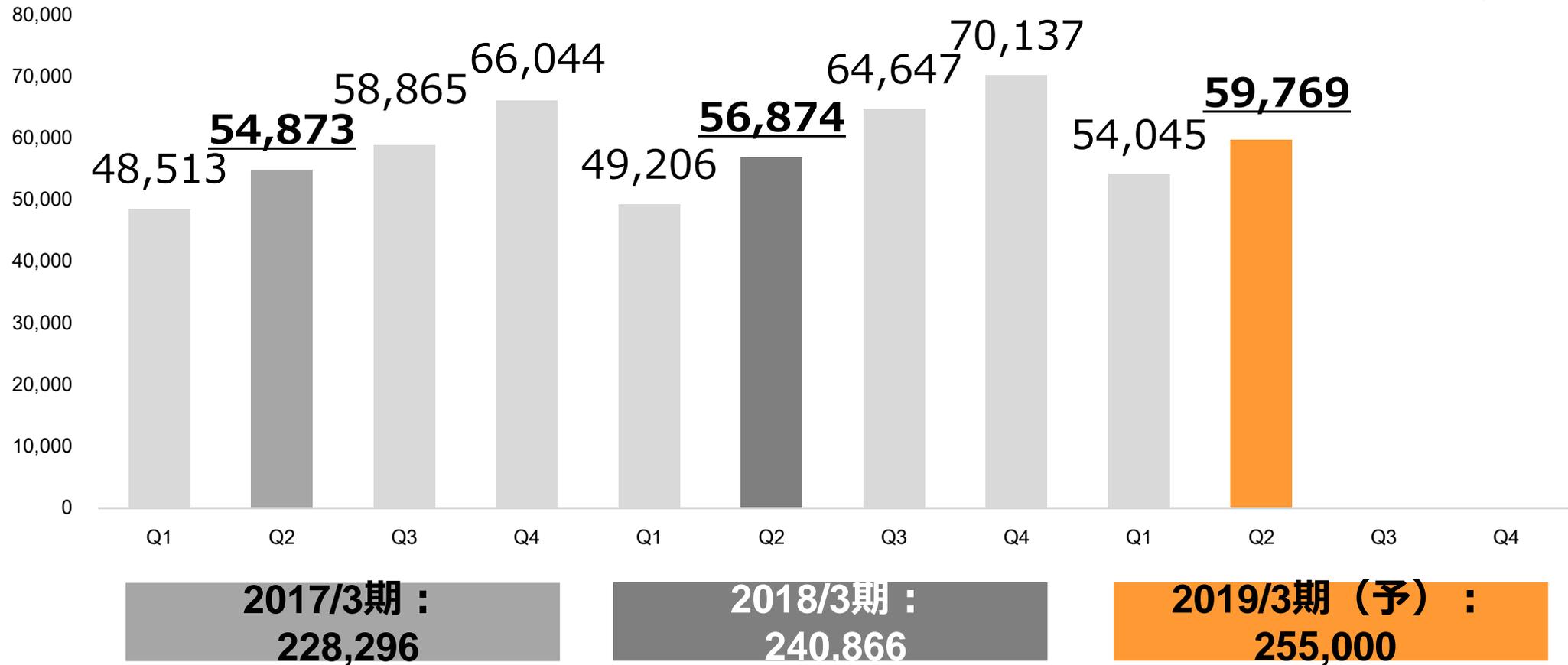
※グラフは米国市場売上高にカナダ及び中南米市場（USDドル換算）を加算した金額の推移

◇米州事業の特徴

日本と同様にホイストを中心としたマテハン事業に加えて、ピアレス社買収によって取得したクサリ関連事業で構成

- 製造業の設備投資、インフラ関連、資源関連需要とも好調に推移
- 対中貿易摩擦による各種影響を懸念

（単位：千USD）



地域別売上高（中国）

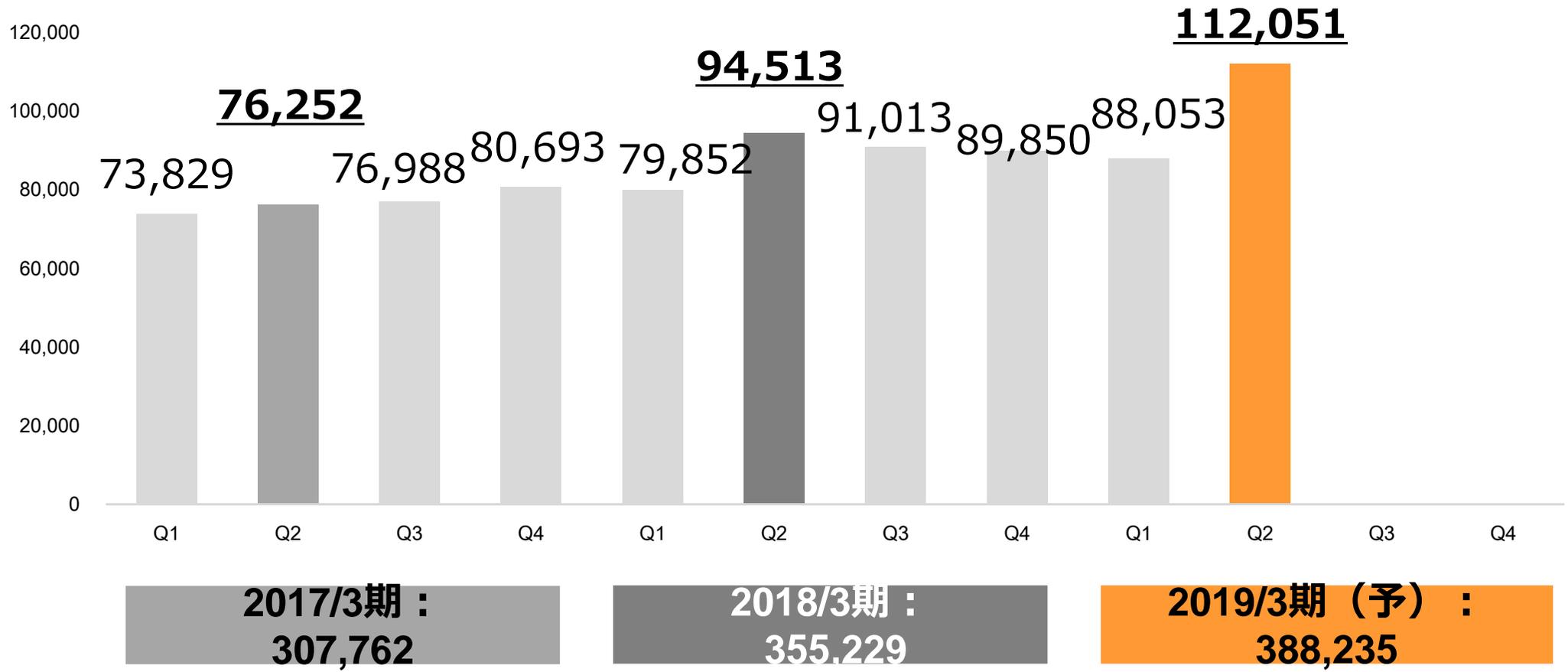
※中国は1-12月決算

◇中国事業の特徴：

中国市場向けロープホイストの製造販売と、日本からの高機能製品の輸入販売が事業の2本柱

- 国内市場向けEVを中心に、自動車産業が活況
- プロジェクト案件からホイスト販売へと事業転換、利益改善に成果
- 対米貿易摩擦による影響は注視

(単位：千RMB)



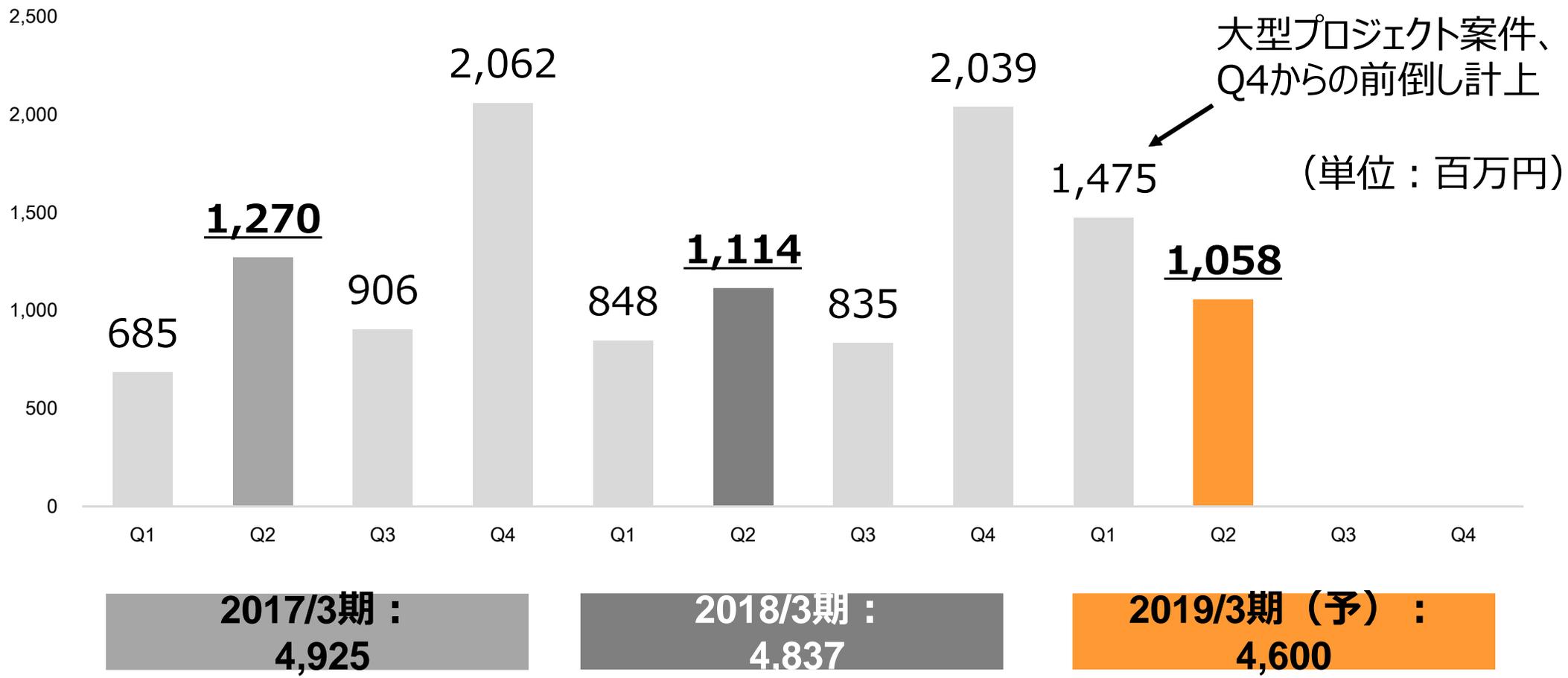
地域別売上高（アジア）

※タイ、韓国、台湾は1-12月決算、インドネシア、インドは4-3月決算

◇アジア事業の特徴：

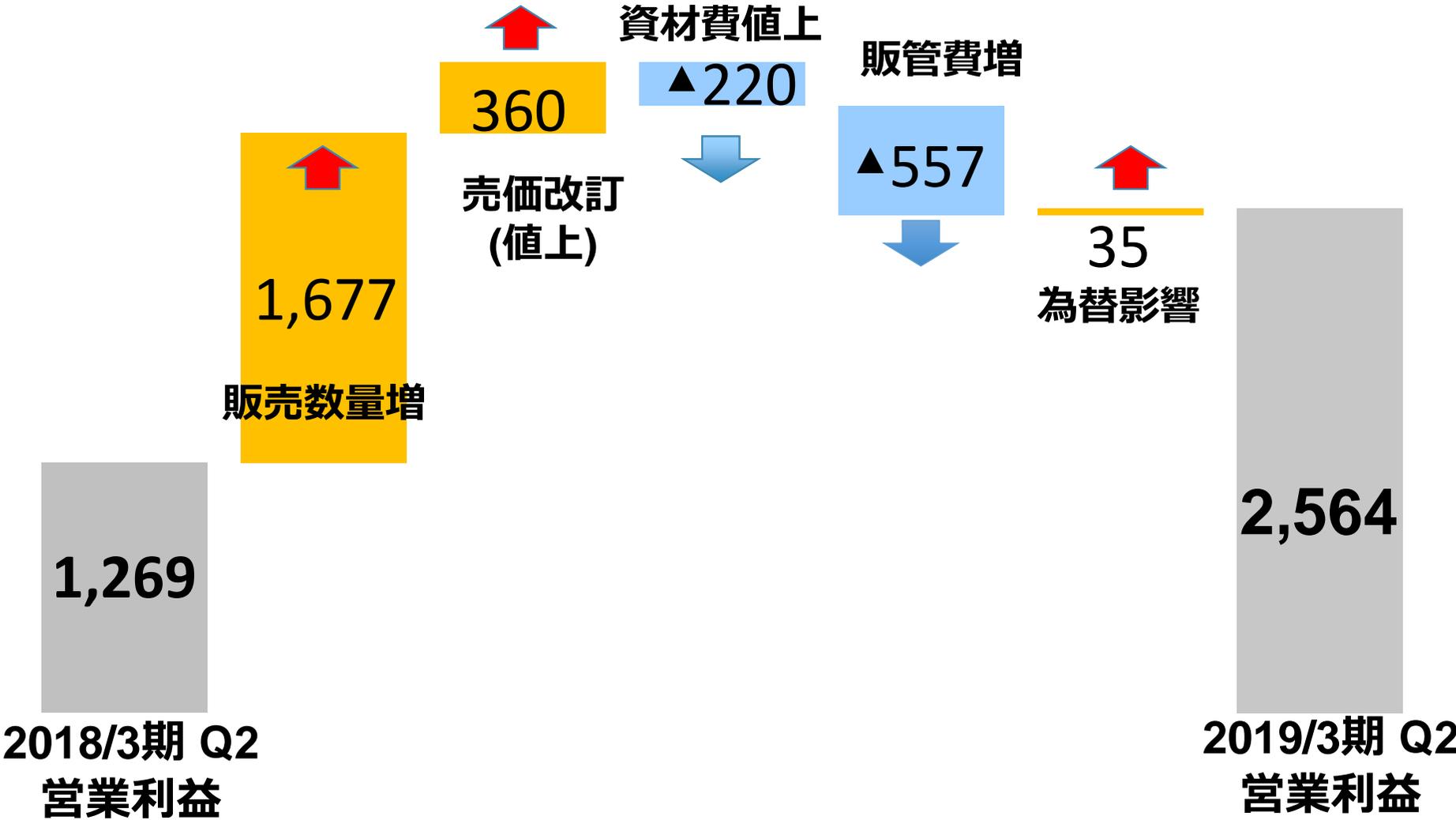
クレーン事業が中心となる、韓国、タイで、当地域の売上の約75%を占める。
クレーン事業から、ホイスト販売、クレーンメンテナンスなどのサービス事業へと事業転換を推進

- アジア全体での旺盛な需要を捉える
- ホイスト販売事業を拡大することで利益率改善に成果



営業利益の比較

(単位：百万円)



2019/3期 Q2 連結貸借対照表 (前年同期比較)

単位：百万円	2018/3期 Q2	2019/3期 Q2	増減額
流動資産	36,949	39,300	2,350
現金及び預金	9,401	8,878	▲ 522
受取手形及び 売掛金	10,141	11,544	1,402
たな卸資産※1	16,367	17,631	※1 1,264
その他	1,038	1,245	206
固定資産	23,070	23,092	21
有形固定資産	11,656	11,112	▲ 544
無形固定資産	7,547	6,785	▲ 762
投資その他の資産	3,866	5,194	※2 1,328
資産合計	60,019	62,392	2,372

単位：百万円	2018/3期 Q2	2019/3期 Q2	増減額
流動負債	16,362	19,271	2,909
支払手形及び 買掛金	6,046	6,820	774
短期借入金 *	5,625	7,183	※3 1,558
その他	4,690	5,266	576
固定負債	21,995	17,809	▲ 4,185
長期借入金	17,414	14,581	※3 ▲ 2,833
その他	4,580	3,228	※4 ▲ 1,352
純資産合計	21,662	25,310	3,648
負債純資産合計	60,019	62,392	2,372

※1 生産回復による在庫量増加(日、米)
 ※2 買収先株式取得による投資有価証券の増加

* 1年内返済予定の長期借入金を含む

※3 借入金の圧縮
 ※4 長期繰延税金負債(米)、退職給付債務(米)の減少

連結キャッシュ・フロー

単位：百万円	2018/3期 Q2	2019/3期 Q2	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	2,953	53	△2,900
投資活動による キャッシュ・フロー	△869	△1,091	△222
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,757	△798	959
現金および現金同等物 に係る換算差額	3	△27	△31
現金および現金同等物 の増減額	330	△1,863	△2,193
現金および現金同等物 の期末残高	9,389	8,865	△524

<2019/3期Q2の主な内容>

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益：	2,314
減価償却費：	1,177
たな卸資産の増加：	△1,593
法人税等の支払額	△928

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出：	△532
無形固定資産の取得による支出：	△90

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増額：	1,408
長期借入金返済による支出：	△2,138

1

2019年3月期 第2四半期 決算報告

2

2019年3月期 見通し

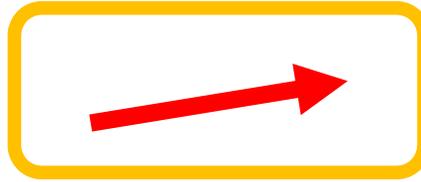
3

参考資料

- ・ 過去5期分の業績・財務情報（2014年3月期-2018年3月期）
- ・ 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

2019年3月期の見通し

日本



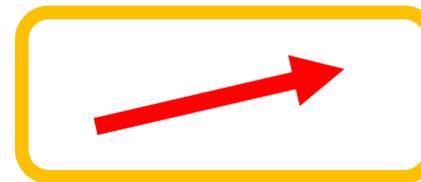
市場環境

- 民間設備投資が継続し、持続的な成長を期待
- インフラ整備ほか建築土木の需要拡大を見込む

取り組み

- 新基幹システムの安定運用。需要増に応えるべく増産を継続
- 新製品の導入、品揃え拡大を継続、クレーンビルダーとの連携強化

米州



市場環境

- 需要は幅広い産業での底堅い推移を見込む
- インフラ関連投資、エネルギー関連産業に期待

取り組み

- 納期短縮、質の高いサービスによる顧客満足度向上
- 製品品揃えを拡充し、顧客を取り込む

2019年3月期の見通し

中国



市場環境

- EVを中心とした内需関連の設備投資が好調
- 政府の環境対策への対応

取り組み

- 好調業種の設備投資需要を捉え、販売拡大を図る
- コスト削減による利益改善策を継続
- 市場は減速懸念あるものの、国内の成長産業の需要獲得に注力

アジア



市場環境

- 設備投資は回復の兆し
- 韓国市場は、液晶・有機ELディスプレイ向け投資減速を懸念

取り組み

- クレーンのメンテナンスなどサービス事業、ホイスト販売の強化
- 事業効率化による利益改善策を継続

欧州



市場環境

- 幅広い産業での緩やかな需要拡大を見込む

取り組み

- 子会社、関連会社との相乗効果拡大、さらなる市場の開拓

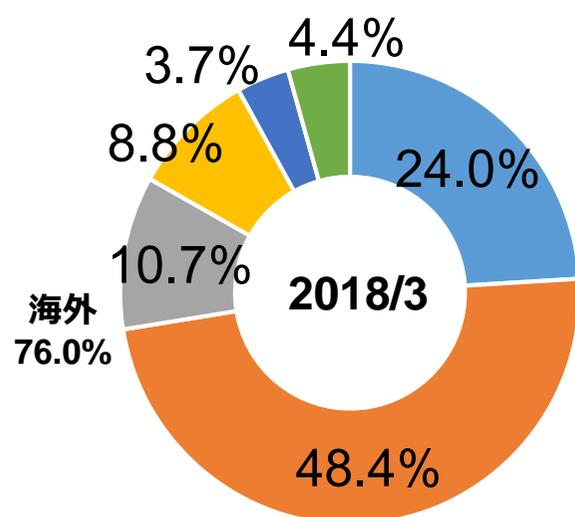
2019年3月期 業績予想 (地域別)

(単位：百万円)	2018/3期		2019/3期 (予想)		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	55,168	100.0%	60,000	100.0%	4,832	8.8%
日本	13,261	24.0%	14,800	24.7%	1,539	11.6%
米州	26,700	48.4%	28,000	46.7%	1,300	4.9%
中国	5,903	10.7%	6,600	11.0%	697	11.8%
アジア	4,837	8.8%	4,600	7.7%	▲237	▲4.9%
欧州	2,060	3.7%	3,600	6.0%	1,540	74.8%
その他地域	2,404	4.4%	2,400	4.0%	▲4	▲0.2%

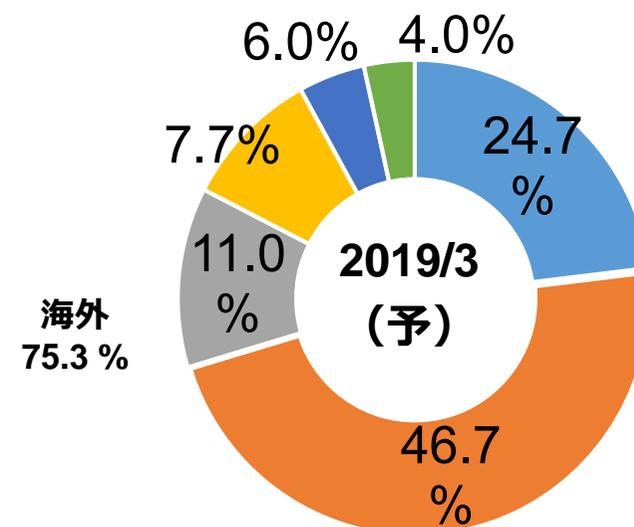
注 為替レート (2018/3期→2019/3期) :

USD 110.9→110.0円 CAD 86.5→85.0円 EUR 129.7→130.0円 RMB 16.6 → 17.0円

地域別
売上高構成比



- 日本
- 米州
- 中国
- アジア
- 欧州
- その他



2019年3月期 業績予想

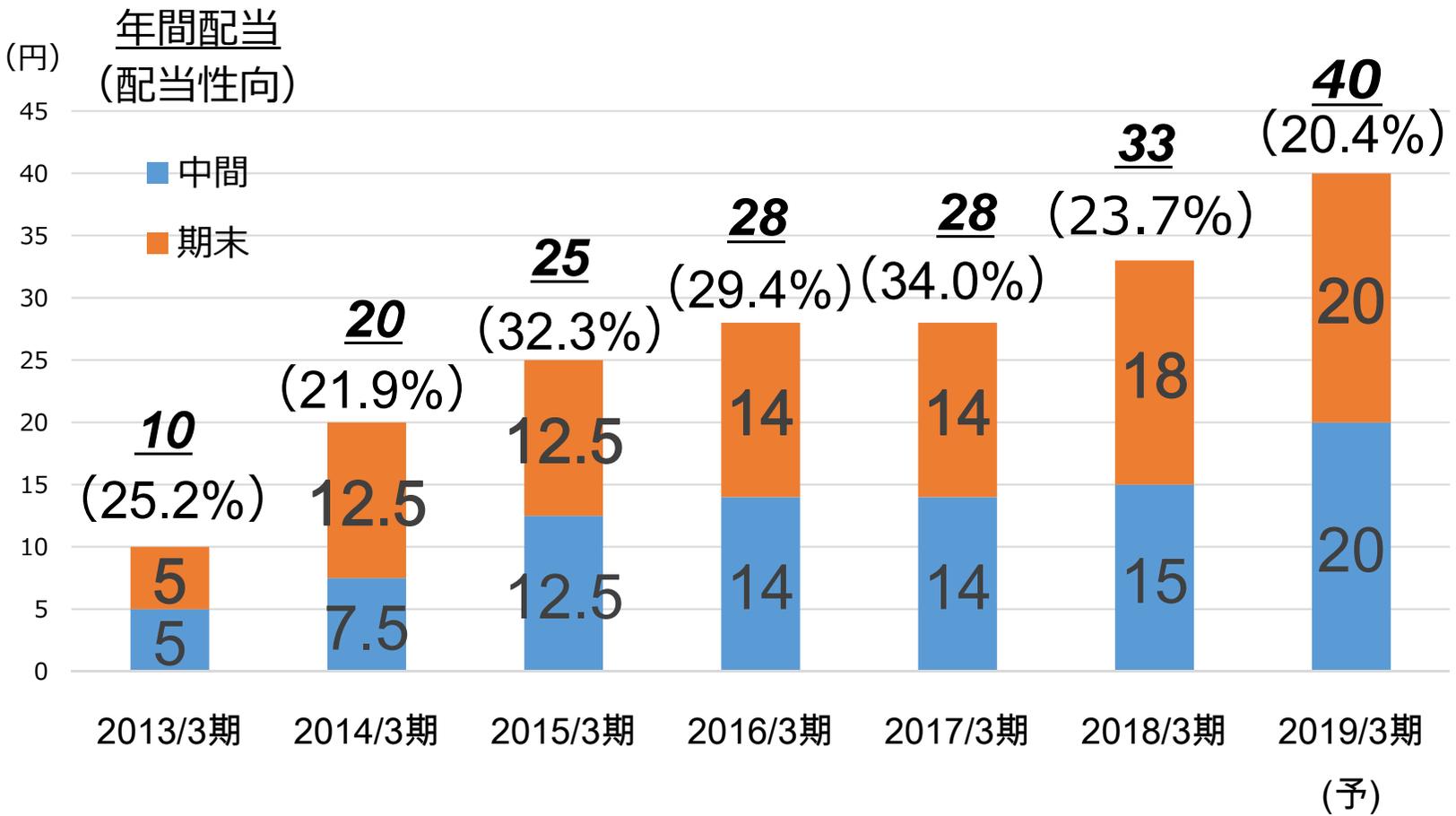
(単位 百万円)	2018/3期	2019/3期 (予)	前期比
売上高	55,168	60,000	8.8%
営業利益 (営業利益率)	4,698 (8.5%)	6,000 (10.0%)	27.7%
経常利益 (経常利益率)	3,791 (6.9%)	5,700 (9.5%)	50.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	2,836 (5.1%)	4,000 (6.7%)	41.0%
EBITDA =営業利益+償却費	7,142	8,800	23.2%
設備投資	1,411	2,310	

注 為替レート (2018/3期→2019/3期3Q以降) :

USD 110.9 → 110.0円 CAD 86.5 → 85.0円 EUR 129.7 → 130.0円 RMB 16.6 → 17.0円

株主還元方針／配当予想

**配当性向20%以上を目処に
年間配当額 33円 から40円に増配予定**



(注) 下記の株式分割を行っており、上記配当額は当該株式分割を勘案した数値を記載しております。

2013年4月1日付：普通株式1株→100株、2014年10月1日付：普通株式1株→2株

(注) 2014/3期につきましては、2014年10月1日の株式分割前となる中間期の実際の1株当たり配当額は25円となり、株式分割後の期末の1株当たり配当額は2分割後の12.5円となります。

1

2019年3月期 第2四半期 決算報告

2

2019年3月期 見通し

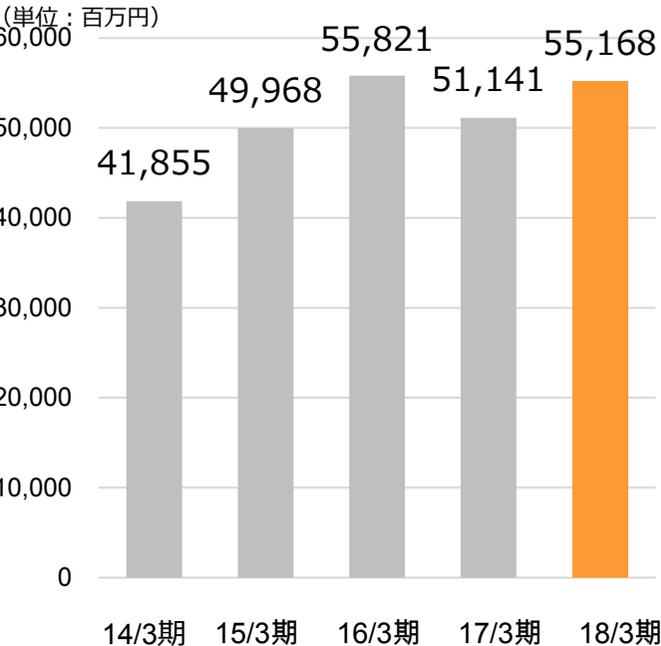
3

参考資料

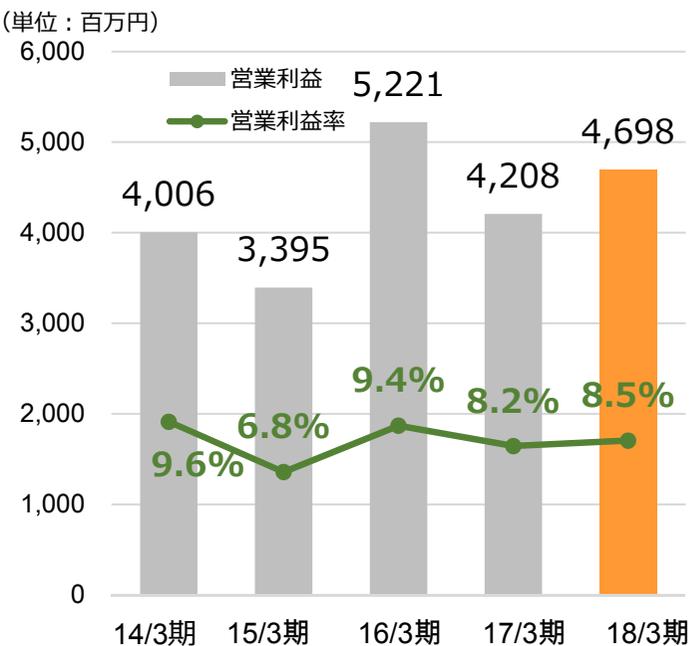
- 過去5期分の業績・財務情報（2014年3月期-2018年3月期）
- 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

業績・財務情報

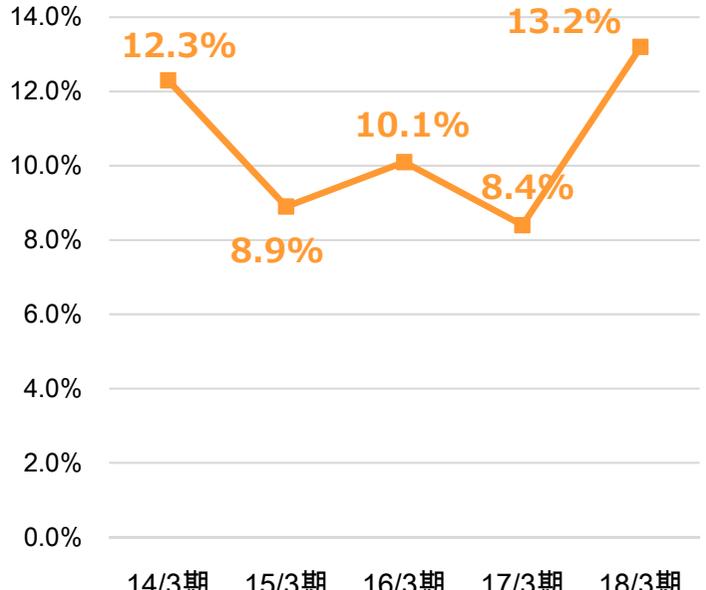
売上高



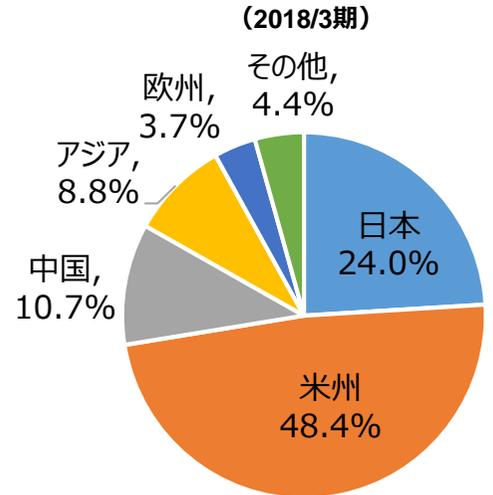
営業利益・営業利益率



ROE

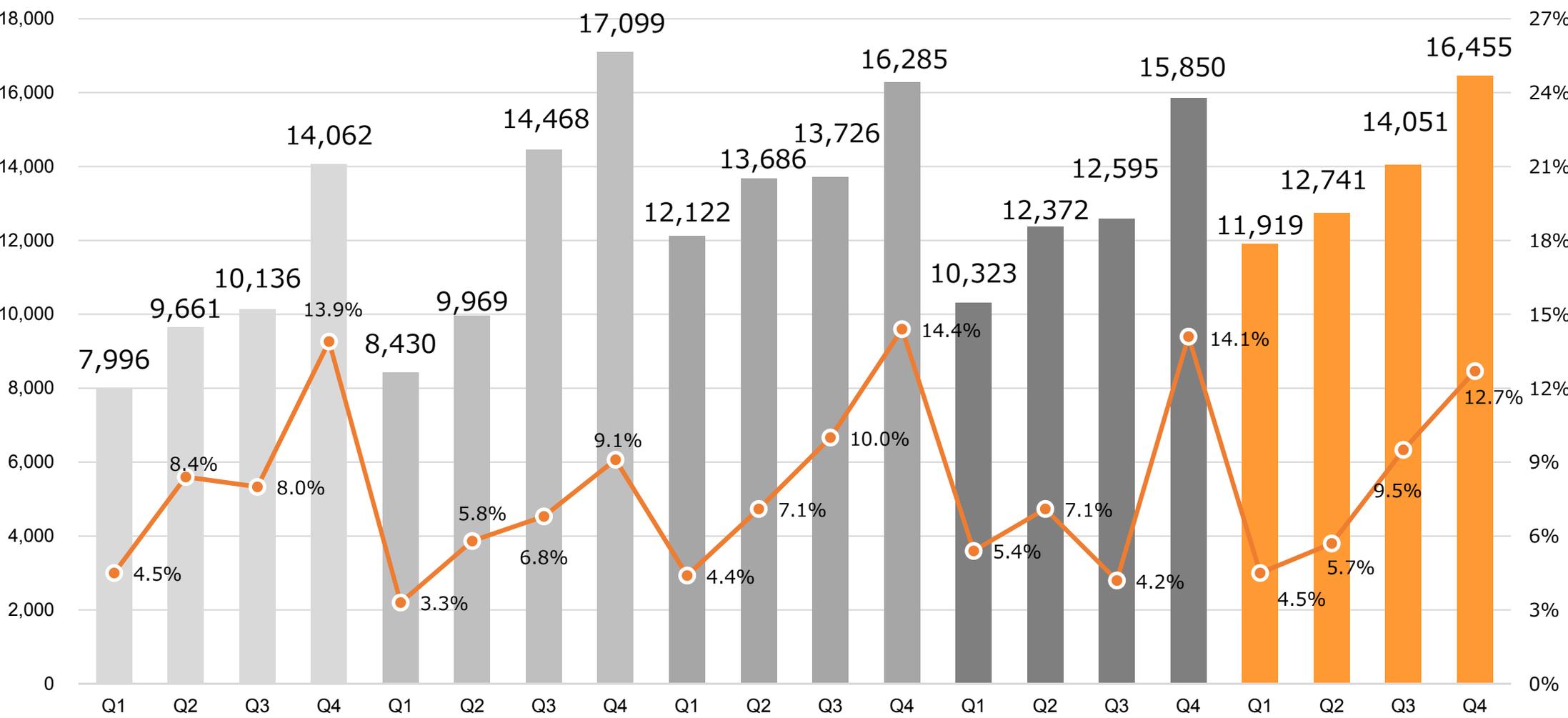


地域別売上高比率



	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期
海外比率	72.2%	76.6%	77.3%	74.3%	76.0%
為替平均レート					
USD	100.2円	109.9円	120.1円	108.4円	110.9円
CAD	95.1円	96.5円	91.8円	82.5円	86.5円
EUR	134.4円	138.8円	132.6円	118.8円	129.7円
RMB	15.9円	17.2円	19.2円	16.4円	16.6円
設備投資額(百万円)	2,440	1,408	2,013	2,393	1,411
減価償却費(百万円)	954	1,311	1,814	1,792	2,116

売上高および営業利益率（四半期比較）



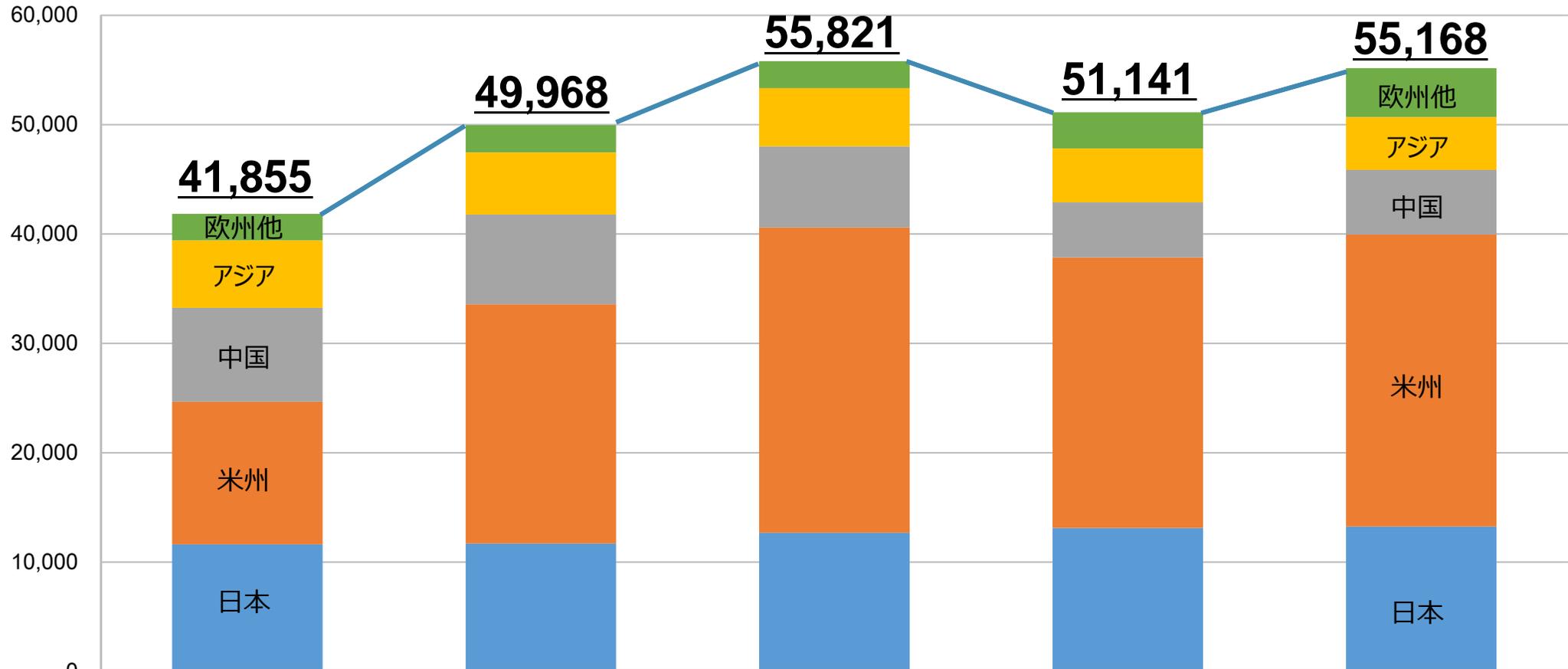
営業利益

360	806	809	2,030	280	575	987	1,553	538	966	1,371	2,345	561	876	532	2,239	538	730	1,338	2,092
-----	-----	-----	-------	-----	-----	-----	-------	-----	-----	-------	-------	-----	-----	-----	-------	-----	-----	-------	-------

2014/3期 売上高 41,855 営業利益 4,006				2015/3期 売上高 49,968 営業利益 3,395				2016/3期 売上高 55,821 営業利益 5,221				2017/3期 売上高 51,141 営業利益 4,208				2018/3期 売上高 55,168 営業利益 4,698			
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

地域別売上高推移

(単位：百万円)



	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期
■ 欧州他	2,424	2,500	2,479	3,308	4,465
■ アジア	6,168	5,676	5,321	4,925	4,837
■ 中国	8,604	8,198	7,418	5,034	5,903
■ 米州	13,034	21,888	27,909	24,742	26,700
■ 日本	11,625	11,702	12,692	13,129	13,261

中期経営計画 (2017年3月期-2021年3月期)

基本方針

3つの基本方針による“KITO SPIRIT”を原動力とした推進

- 1) 「顧客満足の上昇」を第1の基本方針とする。
- 2) それを実現する「効率的で機能的な組織」を作る。
- 3) そして、組織を作る「人」への積極的な投資を行う。



3つの経営目標に向け 収益倍増を目指す

Financial Target

1 高収益体質への回帰

- ・生産設備リニューアル
- ・高収益事業への集中

2 製品ポートフォリオ拡充による成長

- ・新製品の投入
- ・M&Aによる拡充
- ・既存製品の新市場への投入加速

3 真のグローバル企業への組織進化

- ・グローバル人材の採用と育成
- ・主要拠点における統一基幹システムの導入
- ・グループ内統一マーケティング・データベースの構築

EBITDA
約2倍増

130億円

74億円

2016年3月期

2021年3月期

“Lifting Expectations”

